

しまむら新一の議員レポート

市議会議員報告

ー新たな巨大道路計画より、生活道路の改善・補修をー 地域に危険な箇所、ありますか？

9月定例会千葉県議会で、日本共産党のみわ由美県議は、県政があまりにも大型道路づくり中心であり、県民の日々の暮らしに一番身近な生活道路の整備にもっと予算確保すべきではないかと、熊谷



日本共産党市議会議員
しまむら新一事務所
事務所/〒270-0021
松戸市小金原4-11-29
☎047-309-2651
FAX047-309-2652
松戸・鎌ヶ谷地区委員会
事務所/〒270-2252
松戸市千駄堀1810-2

県知事に質問しました。

小金原南側地域・金ヶ作地域にも、今まで交通事故等が起き、危険な箇所があり、千葉県警や東葛土木支所などに要望書等を住民が出しています。

地域密着型の交通政策に重点を移すべき！

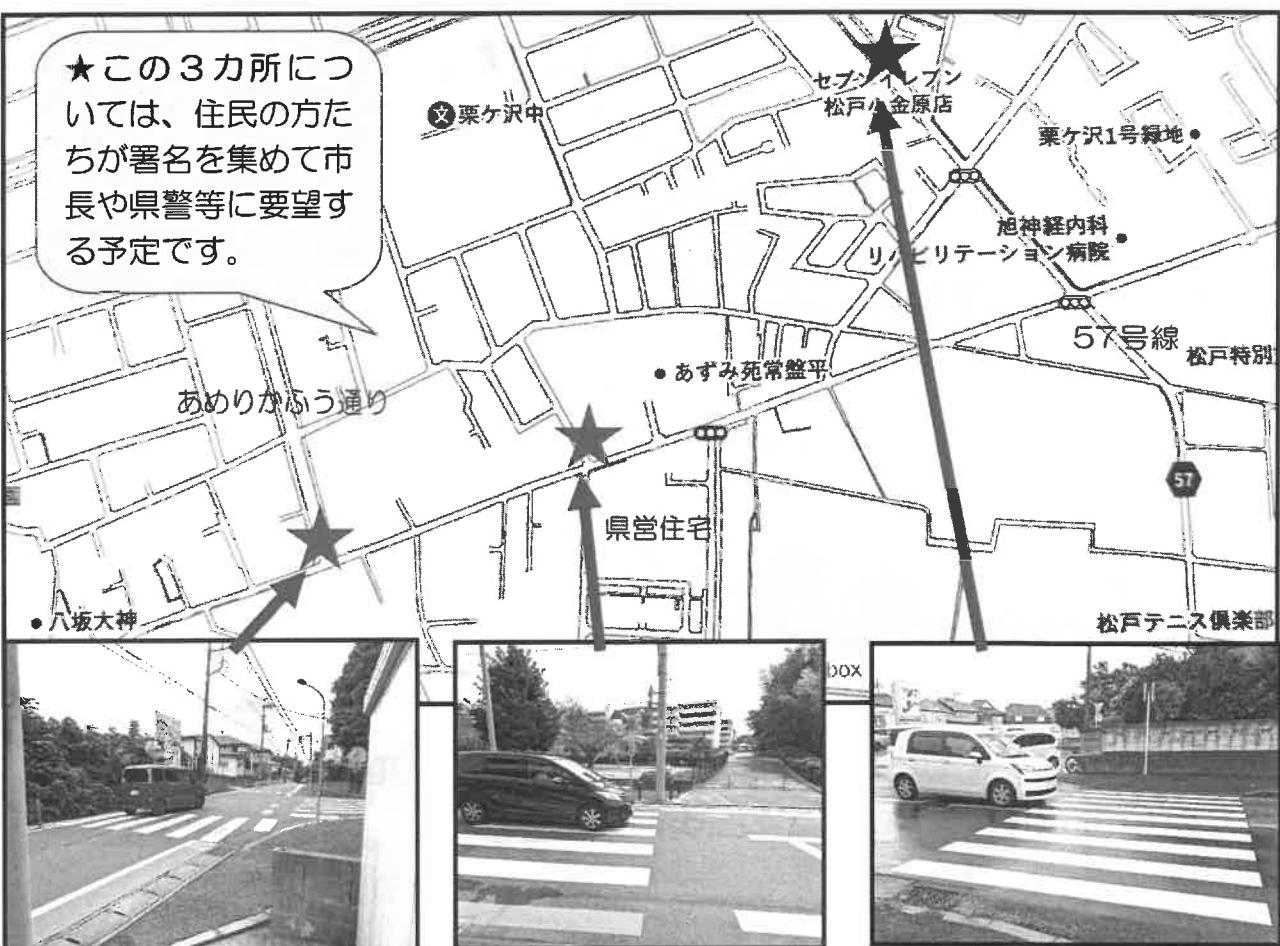
9月21日（木）、千葉県議会9月定例会で日本共産党のみわ由美県議は、生活道路の整備について熊谷県知事に

「千葉県は新湾岸道路をはじめ、広域道路ネットワーク構想に執着し、県民からは『こんなに道路ばかりつくりつくってどうするのか』という声も出るほどです。県は、産業の活性化と言いますが、道路を造ればうまくいくのでしょうか。ネットワーク構想では『人口減少と少子高齢化に伴い、本県経済活動の停滞が懸念されることから、県内外及び県内各地を道路ネットワークで結び、人・モノの交流を活性化させる必要がある』と書かれていますが、高齢化で求められているのは生活圏内での日々の移動であり、公共交通の強化が求められています。広域な大規模道路網を張り巡らせる

のではなく、地域密着型の交通政策に、重点を移すべきだと考えますが、どうでしょうか。大規模道路への執着の一方で生活道路がまったく後回しになっていますが、高齢者にも子育てに安心して歩ける地域の道路が必要です。ところが、例えば松戸市内を見ると、生活道路として使われている県道が、安心して歩けない事態となっています。昨年3月、松戸市高塚新田の県道市川柏線で、自転車に乗っていた21歳の女性が後方から来た軽自動車にはねられて亡くなりました。この道路は、北から拡幅



小金原南側・金ヶ作・栗ヶ沢地域 住民の方が危ない箇所と指摘している地点



★この3カ所については、住民の方たちが署名を集めて市長や県警等に要望する予定です。

▲あめりかふう通りの南端丁字路。高木小の通学路でもあり、30キロゾーンが直線一通なので速い速度で走る車が多くて危険です。

▲金ヶ作県営住宅と金ヶ作の住宅地間の横断歩道が危険です。通学路で数年前、小学生が車にぶつけられ、腰をいためています。

▲57号線、小金原9丁目のセブンイレブン近くの横断歩道で10年前に死亡事故がありました。多くの車が横断歩道に気づいていません。

工事を進められてきましたが、高塚十字路より南側で用地買収が困難な場所にあり、そこで止まっています。市議会では『その部分は保留して、先へ進めてほしい』との要望も出されていましたが、県は『ここが終わらなければ次にいけない』との態度をかたくなとり続けており、これが死亡事故の遠因ともなっています。こうしたところにこそ、光を当てて一刻も早く、安全な道路にしていくべきだと考えますが、どうでしょうか」と問い合わせました。

道路行政については、熊谷知事が回答せず穴澤副知事が答弁に立ちました。生活道路関連については、

「交通政策については歩道整備、交差点改良などの交通安全対策をこれからもとっています。安全な道路整備は歩行者の安全安心の確保を図るために、通学路、事故危険箇所、歩道整備に取り組んでいます。また、警察や学校と連携して道路標示や防護柵などの即効性のある対策にも取り組んでいきます」と回答しました。（詳細は県議会議事録参照）

松戸市制80周年記念ゆうまつどフェスタ2023基調講演会 「ジェンダーギャップ指数の高い国、低い国」

-北欧ノルウェーの学校、テレビ、ファッション、食事、選挙から考える-

ゆうまつどでは、11/4(土)～10(金)の期間、フェスタとして男女共同参画社会の実現に向けて様々なイベントを開催します。

世界の男女平等度を数値化した「ジェンダーギャップ指数」で、日本は衝撃の146カ国中、125位。世界最下位レベルです。トップに並ぶのは北欧諸国。1位アイスランド、2位ノルウェー、3位フィンランド、……。ところが、2位のノルウェーも、かつて男性中心でした。ではどのようにして男女の格差の小さい社会になったのか。ノルウェーの暮らしや政治を探りながら、日本はなぜこんなに男女格差が大きいのかを考えてみませんか。

11月4日(土) 13:30～15:00 男女共同参画センターゆうまつど

[参加方法など] 参加は無料です。会場参加は先着50名まで、オンデマンド配信は定員なしです。申込み先は、男女共同参画センターゆうまつどまで、

☎047-364-0778、またはちば電子申請サービス

『市庁舎移転建替え案』現地ウォッチング!

10月7日(土)、第1回現地ウォッチングが行われ、21名の方が参加され、現地の狭さを改めて実感しました。みんなで市庁舎現地建替えを考える市民ネットは、まだ参加してくれてもできなかった方もいらっしゃるということで、第2回、第3回も企画しました。下記日程、両日とも10時集合です。

- ▷10月26日(木) 松戸駅東口デッキ
- ▷11月19日(日) 松戸駅東口デッキ



△予定候補地の東側にある法務局駐車場から市庁舎移転候補地の国有地を観る参加者のみなさん

公園の名前は地域住民にとっては大事です！

右の地図は、北小金駅南側、きよしヶ丘町会地域のものです。この町会内にある公園名は、民間の地図会社が作成した地図によれば、「きよしヶ丘小金公園」となっています。

しかし、現在、公園にある公園名版の公園名は、「小金公園」になっています。

困ったのは、地域住民の方たちです。地域の行事を行うときに、チラシなどに以前から呼んでいた「きよしヶ丘公園」と書いて行ってきましたが、公園名板を改めるとどうやら、区画整理事業時の「小金公園」が表示され、混乱が生じました。

そこで地域住民の方たちは、9月下旬、市の担当課・公園緑地課と話し合いを持ちました。

市担当課の方の調べでは、1958(昭和33)年、この地域の区画整理事業が行われ、そのとき、都市計画法で「小金公園」という名称になり、1962(昭和37)年、10月に開園したということです。その区画整理で町名整備も行われ、「きよしヶ丘」という町名もつきました。

その後、2016(平成28)年、公園整備のときに公園名板をリニューアルしたときに「小金公園」とし、また、以前は「小金公園」「きよしヶ丘公園」の両名が併記されていたらしいことも分りました。

こうした経緯を聴きながら、住民のみなさんの多くは「きよしヶ丘公園」という名称に馴染んでおり、行事等のお知らせ場所等を考えると、ぜひ公園名板を変更してほしいと要望しました。

担当課も、地域の皆さんの意向を重視し、都市計画法上の「小金公園」を変更す



ゼンリンの地図には「小金公園」

るのには時間も手間もかかるので、当面、両名を併記する方法で早急に検討していきたいと回答しました。また、公園名板の表記については、予め地域の皆さんに案の段階で、事前に知らせることも約束をしました。

ちなみに市内の公園名は、大型団地であれば、UR(当時、日本住宅機構)と、そうでなくとも地域と相談等を行い命名しているということでした。